

## 教員長期社会体験研修【株式会社アドバコム】

札幌市立中央中学校 野呂 綱衛

### 1 研修の目的

教員になって 15 年が経過するが、世の中の変化は激しく、学校も教員もそれに対応しながら子ども達と向き合ってきた。中でも、新型コロナウイルス感染症の蔓延は特に大きな衝撃を教育現場に与えた。例を見ない全国一斉休校。学校が再開されても行事や授業は今まで通りに行うことはできず、新しい生活様式への転換をせざるを得なかった。もちろん、これは学校内だけの問題ではない。

元々、いわゆる一般企業や学校以外の場所で働くこと、大学院等で学び直し、自分の視野を広げるような経験をしたかった。そうすることで、自分の成長にも繋がり、子ども達や学校に還元できることが増えるとも考えていた。一方、自分が今までに身に付けてきたことが学校を離れた社会の中で通用するのか、どのように生かすことができるか、ものの見方や考え方として足りないことは何かを探ってみたいという気持ちもあった。

このように様々な思いをもって研修に臨むことになったが、研修の目的の全ては「変化が激しい社会の中で、自分も子ども達も柔軟な考えや価値観をもって生きていくためのヒント」を得るということに凝縮される。

### 2 主な研修内容

#### 【株式会社アドバコムについて】

株式会社アドバコムは 2001 年 3 月に設立された。企業理念は、「コミュニケーションビジネスで社会課題解決に貢献し、人々の幸せの実現を目指す」。代表的媒体である「子ども環境情報紙エコチル」は創刊 15 周年を迎え、札幌市立小学校、中学校、高等学校でも無料配布されている。また、東京都、神奈川県横浜市、長野県の一部地域でも紙面を作成し、小学校で展開している。2022 年 4 月からは大阪府・静岡県の一部地域での発行も決定した。並行して、電子版で全国展開している。

さらに、現在は XR (Extended Reality 仮想世界と現実世界の融合から新しい体験を生み出す) 事業にも力を注いでいる。

#### 【子ども環境情報紙「エコチル」編集作業】

##### ○記事作成

エコチル紙面には「エコなひと」というコーナーがあり、私が担当した際は、教育に携わる方にお話を聞き、それを記事にまとめた。また、札幌市在住のゲストティーチャーが東京都にいる小学生に Zoom を通して授業を行ったのだが、それを参観し、報告記事を作成した。その他、10 代起業家による対談記事、札幌市のジュニアスポーツ団体やスポーツを頑張っている小学生を応援する「スポチル」という紙面を発行したのだが、そのほとんどの記事を制作するという機会もあった。

取材を通して、様々な人にお会いして、素敵なお話をたくさん聞かせていただいたのは貴重な経験となった。一方、限られた文字数の中で取材対象者の思いを正確に表現し、それを読者に伝えることの難しさを改めて実感した。文章作成もコミュニケーションスキルを養う方法の一つである。

##### ○イングリッシュ・エコ・クイズやエコワードパズル作成

エコチル紙面のお楽しみとして、クイズやパズルコーナーを設けている。その一つがイングリッシュ・

エコ・クイズである。小学生版紙面に掲載するものだが、環境問題やSDGsに絡めながら作成した。

また、中学生・高校生版紙面に毎月掲載されるエコワードパズル（エコについても学ぶことができるクロスワードパズル）も担当した。このようなコーナーは読者人気が高い。楽しんでほしいということはもちろんだが、「知らなかったことを知ることができた。」というように、クイズやパズルを解く過程で読者に発見があってほしいという気持ちで作成している。そのため、難易度の調整や積極的にタイムリーな話題を扱うなど、工夫を凝らして制作した。

## ○広告・告知記事作成

昨年4月には、この教員長期社会体験研修が株式会社アドバコムで始まったことを紹介する告知記事、その他にも札幌市立中学校の吹奏楽部に密着したドキュメンタリー制作・公開告知記事や札幌市とタッグを組んで実施した大型オンラインイベント開催告知記事などを制作した。一般的な「文章をまとめる記事」以上に必要な情報を簡潔に、読者に訴求する充実した内容が求められた。デザインや構成能力も必要となるので、デザイナーさんの力を借り、やり取りを重ねながら制作した。自分が描いたラフなスケッチが、デザイナーさんを通すと劇的に素晴らしいものになることに驚いた。

## 【YouTube 生配信番組「エコチルライブ」制作】

### ○企画・立案・出演交渉・台本作成

月に一回、土曜日の午前10時から、札幌市内スタジオよりYouTubeで「エコチルライブ」という番組を生配信している。エコチルライブはエコチル紙面を深掘りすることがメインテーマなので、基本的には紙面構成に準じた形で進行した。

「エコチルライブ」は会社の助力を得て、毎月自分で企画・立案した。紙面で協力してもらっている環境省や札幌市環境局、全国の動物園・水族館等にメールやZoom等を利用し、ライブ配信への出演依頼や打合せをとりまとめた。また、パフォーマンスコーナー出演者・プレゼント協賛社の発掘・選定・依頼も行った。番組内容を確定させ、台本を制作し終えるまでが毎月なかなか大変であった。

### ○台本読み合わせ・配信日スタジオ立合い

番組数日前には、配信スタジオスタッフ、司会進行を担当するエコチルキャラクター「エーコちゃん」の声優さんと台本読みを行った。内容の確認が主だが、私の認識が不足しているところなどをアドバイスいただけただけなので、勉強になった。番組当日、スタジオスタッフは配信が始まる何時間も前から機材チェック等を行っていた。「準備をしっかりとやれば、いい番組になる」というチーフオペレーターの方の言葉が心に残っている。

スタジオスタッフや声優さんの他にも、事前収録動画等で参加してくれる方、時間を割いてなあ出演してくれる方などたくさんの人達にお世話になった。一人ではできないことも、多くの人の思いや力が集まれば大きなことを成し遂げることができる。チームワークの大切さを改めて実感した。

## 【エコチルまつりバーチャル2021・環境広場さっぽろ2021バーチャルツアー】

### ○エコチルまつりバーチャル2021

「エコチルまつりバーチャル2021」は2021年の8月、「コロナ禍でも学びを止めない。安心・安全を担保しながら、子ども達のSDGsな自由研究を応援しよう」という目的で実施されたオンラインイベントである。オンライン会場内には20個の展示ブースを設置し、来場者は動画や画像などを観ながらSDGsやそれに関わる様々な取組を学ぶことができる仕組みとした。また、開催初日にはライブ配信ス

テージを実施。エコチルライブで培ったノウハウを生かし、こちらの運営も統括した。

## ○環境広場さっぽろ 2021 バーチャルツアー

2022年の1月に札幌市とタッグを組んで実施した大型オンラインイベント。「札幌市制100周年 次の100年につなげよう 笑顔で暮らせる街さっぽろ」をテーマに開催された。株式会社アドバコムが特別協力という形で関わり、100を超える出展ブースの調整やオンラインセミナー・ワークショップの運営、3日間に渡るライブステージを生配信した。私は主にライブステージの統括、オンライン会場内のバーチャル動物園制作、来場者プレゼントの協賛依頼等に携わった。

## ○ライブステージで自分のコーナー制作、バーチャル動物園制作

エコチルまつりバーチャル 2021 と環境広場さっぽろ 2021 バーチャルツアーのライブ配信ステージでは、自分自身のコーナーもいくつか制作した。内容は、「札幌市立中学校吹奏楽部に密着したドキュメンタリー」、「日本列島縦断 世界遺産満喫ツアー」「スポーツに打ち込む団体・小学生応援コーナー」等である。また、バーチャル動物園企画では、オンライン上に動物園を作るということで東京都や横浜市の動物園・水族園とやり取りを重ね、動画や静止画等の素材を提供いただいた。また、札幌市円山動物園とはオンラインバックヤードツアーを事前収録動画で開催した。

これらについては、自分一人で企画・立案・現地取材・動画編集を行った。短期間で膨大な作業量となったが、自分でやるといったことなので、何とか形になってよかったと思う。

## 【その他の業務、研修内容】

### ○動画制作

年間を通して、様々な動画を制作した。動物園から提供してもらった素材を編集し動画としてまとめる、カーボンニュートラル・カーボンオフセット解説動画、ジュニア軟式野球チーム紹介動画等、内容は多岐に渡った。それぞれテーマや特性に合わせて、趣向を変えて制作することで、なるべくワンパターンにならないよう心がけた。

### ○スポーツ小学生コーナーの司会進行

前述したオンラインイベントのライブ配信ステージ内の「スポーツを頑張っている団体・小学生応援コーナー」では、実際に小学生にインタビューしながらコーナーのコーディネートを行った。

### ○SDGs100人カイギ登壇

SDGs100人カイギというオンラインイベントに登壇させていただいた。SDGs100人カイギは、毎月4名ほど登壇するワークショップで、参加者はビジネスパーソンから学生まで幅広い。私は、教員と株式会社アドバコムの両方の立場からお話しさせていただいた。異業種の方のお話を直接聞いたり、話し合ったりする時間もあり、大変有意義なものとなった。

### ○ラジオ番組・テレビ番組出演

ラジオ番組やテレビ番組に数回出演して自分の経験や考えをお話したり、前述したオンラインイベントの告知したりする機会をいただいた。貴重な経験となった。

### ○レッツトライエコライフコーナー全国展開

札幌市立中学校の校長先生にも、毎月1校ずつ御協力いただいた「レッツトライエコライフコーナー」は、学校のエコやSDGsな取組を紹介するコーナーである。エコチルはその輪を全国に展開するべく準

備を進めている。これに係り、レッツトライエコライフコーナーも全国に範囲を広げようとしている。私は、全国各地の教育委員会や小学校に取材依頼や企画意図を説明する役割を担った。御協力いただいた自治体や学校もあるが、順調とはいえ、難しさを感じた。地域や自治体の考え方や思いは実に多種多様で、様々なお話を聞くことができたのはよかった。

## ○各種施設取材

研修中、多くの場所に取材に行くことができた。一例を挙げると、札幌市円山動物園、北方自然教育園、定山溪自然の村、札幌市環境プラザ、滝野自然学園、札幌市青少年山の家等である。比較的柔軟に勤務場所を変えて業務や研修に当たることができるのは、学校との大きな違いであり、新鮮な経験であった。

## ○しながわ家庭エコチャレンジ

東京都の品川区からの事業委託で、小学生がエコについて学ぶことができるワークシート・課題の制作を行った。内容検討・原稿作成は私が行い、デザインはデザイナーさんをお願いした。これまでの教員としての経験を生かすことができたと思う。

## ○HADO 体験会

AR（拡張現実）とスポーツを融合させた日本発のテクノスポーツ HADO 体験会を開催し、運営を補助した。子ども達はもちろん、教育関係者向けにも実施され、私自身も体験した。過去は札幌市にも HADO を体験できる施設はあったが、現在は撤退している。（2022年3月現在）しかし、近未来のスポーツとしてとても興味深い。子ども達の体力向上の方法の一つとしても考えられる。

## ○こどもエコクラブ（公益財団法人日本環境協会）との連携

エコチル紙面電子版内のコーナーの1つを、こどもエコクラブと連携して作成している。こどもエコクラブは、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的として、子どもたちが地域の中で主体的に行う継続的な環境保全活動や環境学習を支援している。こどもエコクラブ全国事務局の皆さんは非常に熱心で、全国の子ども達の活動を紹介してもらいながらたくさんのお話を勉強させていただいた。

## 3 研修の課題

今後どのように研修の成果を還元するかというと、研修を様々な経験をすることができたが、特別なものすごい技術を身につけたわけではないし、自分自身に大きな変化があったというわけでもない。しかし、学校内外を問わず、共通して大事なことは「人を大切にすること」だと考える。このことは生きていく中では当たり前、普遍的なものだと再認識した。

なぜこのように思ったかというと、研修中に多くの人達と出会ったことが大きいように感じる。イベント企画・運営でのやり取りや記事制作のための取材、協賛・協力のお願いなど、直接対面したわけではないが話しできた人達は数えきれない。関わり方のシチュエーションは様々だが、どんな場面においても、以下のことが大切だと考える。

「礼儀」：あいさつ、ありがとう、ごめんなさい。当たり前のことが当たり前のようにできるか。

「敬意」：各自がいろいろな役割を果たすことで、大きなことができる。それぞれの取組に敬意をもつ。

過ちは正す必要があるが、人を乏しめない。

「一線」：その人の思いを受け止めることは大事。でも、できないことはできない。相談して折合いをつけるなどの対応も大事。

「疎通」：テレワーク・LINEWORKS を活用した業務推進も学校外では広く浸透しつつある。そのため、コミュニケーションの取り方や気配りは今まで以上に必要。例えば、メールや LINE を介したコミュニケーション。文字だけで伝えたいことを伝えるのはむずかしい。(誤解・曲解。文字面で必要のない想像までしてしまうことも少なくない。) 読み手への配慮、というのは意識しなければならない。

これらのことは誰もがよくご存じかと思う。しかし、それをできるか・できないかはまた別の問題であり、できる人が強くて優しい人だと思う。このことを自戒しながらも、子ども達に改めて伝えていきたいと思う。

また、前述した内容と重なるが、研修の最大の価値は「人との出会い」にあった。様々な職業に就き、様々な思いをもっている人と関わることができた。多様な価値観・考え方の伝達、ロールモデルとして子ども達との接点をつくることができればと思う。

#### 4 研修の成果

株式会社アドバコム・エコチル編集部がコミュニケーションを通じた社会問題野解決や SDGs 達成に重点を置いて情報発信やイベント企画・運営を行っているため、研修中に取り組んでいることそのものが子ども達や教育の場に還元できているという実感があつた。教師の視点や経験は生かすことができた一方、教師の立場では時間・制限等でなかなかできない規模の還元ができたというイメージである。また、株式会社アドバコムは「未来を想像し、創造する」ことを大切にしており、学校教育が目指すものとの繋がりを感じた。これらの点で、研修は魅力的なものであつた。

また、繰り返しになるが、多くの出会いが自分自身の成長に繋がった。子ども達も広い世界で生きていく。その世界の広さを実感し、強く、優しく、幸せに生きる道を微力ながら伝えていければと思う。

# 別添資料

Let's challenge!  
English Eco quiz!  
—英語エコクイズにチャレンジしよう!—

Q. みんなは地球温暖化という言葉を知っているかな。地球の気温が上がることで、台風や大雨などの自然災害が多く発生し、人々や生物への影響が心配されているんだ。この問題を解決するには、1人1人の意識や行動が大切だよ。では、「地球温暖化」を英語で何というかわ知っているかな?下の4つの中から1つ選んでね。

1. global-warming      2. global-heat  
3. global-hot            4. global-summer

地球温暖化をイメージできるイラスト

A. 答えは 1. global-warming だよ。globalは「世界的な」、warmingには「温かい」という意味があるんだ。warming up という言葉聞いたことがあるかな?これは「体を軽く動かして温める」という意味だよ。ちなみに、2のheatは熱、3のhotは暑い、4のsummerは夏という意味だよ。

なぞってみよう

global-warming	heat
地球温暖化	熱
hot	summer
暑い	夏

次号も、エコに関係した英語クイズを出題するよ!  
お楽しみに!!

※内容は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

Let's challenge  
English ECO quiz!  
—英語エコクイズにチャレンジしよう!—

Q. みんなは地球温暖化という言葉を知っているかな。地球の気温が上がることで、台風や大雨などの自然災害が多く発生し、人々や生物への影響が心配されているんだ。この問題を解決するには、1人1人の意識や行動が大切だよ。では、「地球温暖化」を英語で何というかわ知っているかな?下の4つの中から1つ選んでね。

1. global-warming      2. global-heat  
3. global-hot            4. global-summer

A. 答えは 1. global-warming だよ。globalは「世界的な」、warmingには「温かい」という意味があるんだ。warming up という言葉聞いたことがあるかな?これは「体を軽く動かして温める」という意味だよ。ちなみに、2のheatは熱、3のhotは暑い、4のsummerは夏という意味だよ。

なぞってみよう

global-warming      heat  
地球温暖化          熱

hot                      summer  
暑い                      夏

次号も、エコに関係した英語クイズを出題するよ!  
お楽しみに!!

※内容は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

楽しい!大好き!の気持ちで学びの原点!子どもも大人も、楽しいと思えることは、続けることができるはず!

今回、お話をうかがったのは、えんがいはいくえんに、おにゅにょの酒井基宏さんです。大学で保育者の養成に関わる酒井さんに、保育や教育に対する思いを話してもらいました。

「ハネルシアターを  
活用した学び」

えんがいはいくえんに、おにゅにょは、酒井さんが2005年に結成したグループです。楽しく遊び、学ぶことを大切に、子どもたちや学生、保護者に向けた活動に取り組んでいます。大きな特徴は、パネルシアターの活用です。これは、特別な布をボードに巻き付け、それを舞臺に、絵や文字をさらけ出した

地球にちょっといいはなし  
エコなひと  
今月のテーマ  
学びと日本文化を未来につなぐ

酒井 基宏さん  
パネルシアター作家  
公立保育者に10年務め、現在は保育者転職したきっかけは、ハネルシアター作家としての活動。保育者としての活動も、講演会を行う。えんがいはいくえんに、おにゅにょの酒井さん、子育て支援活動に力を入れていく。

②作成記事一例:エコな人

## ①作成記事一例:イングリッシュエコクイズ

左)原稿・ラフスケッチ 右)デザイン完成後

視聴 無料

もう一度見たい人も

エコチルまつり パーチャル 2021

札幌市立中央中学校吹奏楽部  
ドキュメンタリー  
アーカイブ絶対配信中!!

まだ見ていない人も

QRコード

視聴 URL .....

記憶に残る、想いが伝わる音楽を  
札幌市立中央中学校吹奏楽部  
コンクールへの軌跡

部員たちの暑い夏に密着!

新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限される中、コンクールに向けて努力を続けた部員達の1カ月半を追ったドキュメンタリー。すべての人に想いを込めて、映像と音楽を贈ります!

③作成記事一例:  
札幌市立中学校の  
吹奏楽部ドキュメンタリー  
動画公開告知

上)原稿・ラフスケッチ  
下)デザイン完成後

視聴 無料

もう一度見たい人も

エコチルまつり パーチャル 2021

札幌市立中央中学校吹奏楽部ドキュメンタリー  
アーカイブ絶対配信中!!

まだ見ていない人も

QRコード

https://www.youtube.com/watch?v=A-mgOQxythk

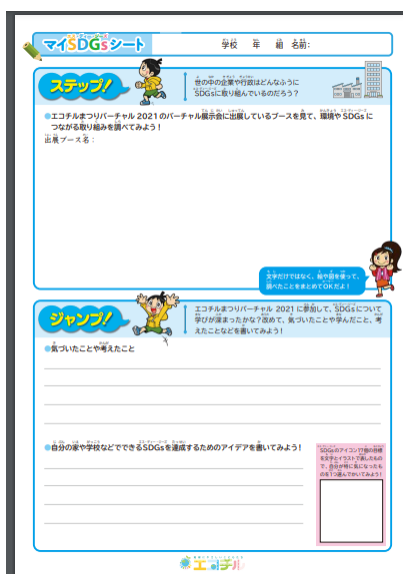
記憶に残る、想いが伝わる音楽を  
札幌市立中央中学校吹奏楽部  
コンクールへの軌跡

部員たちの暑い夏に密着!

新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限される中、コンクールに向けて努力を続けた部員達の1カ月半を追ったドキュメンタリー。すべての人に想いを込めて、映像と音楽を贈ります!



④エコチルまつりバーチャル2021参加者用  
自由研究応援ワークシート



⑤しながわ家庭エコチャレンジ  
ワークシート



⑥SDGs100人カイギ登壇時の記録



⑦エコチルライブバナー画像



⑧環境広場さっぽろ2021バーチャルツアー  
ポスター画像



⑨エコチルライブ出演者の皆さん (左から)バルーンアーティスト・バケネコきのこさん、キリガミストちあきさん、寺久保エレナさん(札幌市出身ジャズサクソ奏者)、EverZOne(札幌観光大使)  
その他にも、多くの方々に御出演いただきました。



⑩エコチルライブ出演者動物園（左から）旭川市旭山動物園、高知県立のいち動物公園、地方独立行政法人 天王寺動物園。その他にも、多くの方々に御出演いただきました。



⑪エコチルライブ取材先一例（左から）札幌市環境プラザ、札幌市北方自然教育園、札幌市青少年山の家。その他にも、多くの施設に取材させていただきました。



⑫配信スタジオの様子



⑬お笑いコンビ「アップダウン」ライブステージ御出演時の様子





⑭環境広場さっぽろ2021バーチャルツアー  
オンライン会場の様子



⑮環境広場さっぽろ2021バーチャルツアー  
バーチャル動物園の様子



⑯環境広場さっぽろ2021バーチャルツアー  
ライブステージSDGs博士コーナーの様子



⑰自主企画動画「世界遺産満喫ツアー」  
左)バナー画像 右)白川郷現地取材



⑱自主企画動画「札幌アーティスト  
ティックスイミングクラブ」オリ  
ンピックを目指す小学生紹介



⑲カーボンニュートラル・カーボン  
オフセット紹介動画



⑳ラジオ番組出演時の様子



㉑札幌市在住ゲストティーチャーによる  
東京の小学生へのZoom授業開催報告



㉒HADO体験会の様子



- ②③生態学者シンガー・アメリーさんとのコラボレーション企画(オーストラリア・シドニーと生中継を実施)



- ②④円山動物園 バックヤード・希少種保全活動を紹介する動画作成